

1

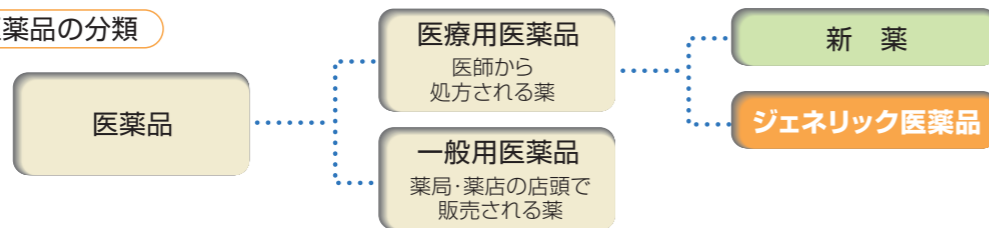
新薬と同じ効き目で価格は約半額!



安価なのに、成分や効き目は新薬と同じ

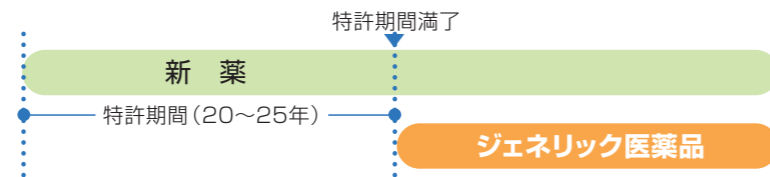
お医者さんから処方される薬には、同じ成分・同じ効き目で価格の高い薬と安い薬があります。高いほうの薬は「新薬」、安いほうの薬は「ジェネリック医薬品」と呼ばれています。このジェネリック医薬品がいま、患者さんの医療費の自己負担を軽減する薬として注目されています。

医薬品の分類



新薬の特許期間満了後に発売される薬

新薬は20～25年間特許に守られ、開発メーカーが独占的に製造・販売できます。ただ、特許期間満了後にはその有効成分は国民共有の財産となり、他の医薬品メーカーが厚生労働省の承認を得れば製造・販売が可能になります。こうした医薬品の総称がジェネリック医薬品(後発医薬品)です。



価格は平均すると新薬の約半額。患者のお薬代負担軽減に貢献

新薬開発には10～15年もの年月と150～200億円もの投資が必要といわれるのに対して、ジェネリック医薬品の開発期間は3～5年。そのため価格も平均すると新薬の約半額に抑えることができます。もし、特許期間が過ぎている薬がすべてジェネリック医薬品に替われば、日本の医療費は年間で**約1兆円も節減**できるといわれています。



2

安全性と品質は?



新薬としての実績が、有効成分の安全性を証明

新薬は、特許期間が満了するまで多くの患者に使用され、その成分の有効性や安全性は確認されています。ジェネリック医薬品はこうした経緯を経て開発されますから、効き目と安全性が十分に確かめられた薬だといえます。



新薬と同様の厳しい品質基準をクリアして生まれる

医薬品は、薬事法によりさまざまな規制が定められています。またジェネリック医薬品は新薬と同じ規制のもと、開発・製造・販売されます。平成9年からは「品質再評価」が実施され、品質管理はより厳しいものになっています。



Column コラム

「品質再評価」って何?

「同じ成分の医薬品なら溶解も吸収も効き目もすべて同じである」という考え方にに基づき、数種類の溶液それぞれについて、新薬とジェネリック医薬品の主成分の溶け方を比較する溶出試験(※)の規格を設定。第三者がいつでも追試してその品質を評価できるように公表する制度が、「品質再評価」です。

※ 数種類の溶液それぞれについて、新薬とジェネリック医薬品の主成分の溶け方を比較する試験。

3 一目瞭然! ジェネリック医薬品は安い!



新薬をジェネリック医薬品に替えると、薬代はこんなに違います

(2006年4月現在)

高脂血症の場合 高脂血症の代表的な薬を1日1回、1年間服用したと仮定

| | 新薬 | ジェネリック医薬品 | 差額 |
|-----|-------------|-------------------------|--------|
| 1年間 | 老人保健(1割負担) | 4,750円 → 2,560円 | 2,190円 |
| | 老人保健(2割負担) | 9,490円 → 5,110円 | 4,380円 |
| | 健保・国保(3割負担) | 14,240円 → 7,670円 | 6,570円 |

高血圧症の場合 高血圧症の代表的な薬を1日1回、1年間服用したと仮定

| | 新薬 | ジェネリック医薬品 | 差額 |
|-----|-------------|------------------------|--------|
| 1年間 | 老人保健(1割負担) | 3,290円 → 730円 | 2,560円 |
| | 老人保健(2割負担) | 6,570円 → 1,460円 | 5,110円 |
| | 健保・国保(3割負担) | 9,860円 → 2,190円 | 7,670円 |

糖尿病の場合 糖尿病の代表的な薬を1日2回、1年間服用したと仮定

| | 新薬 | ジェネリック医薬品 | 差額 |
|-----|-------------|------------------------|--------|
| 1年間 | 老人保健(1割負担) | 2,190円 → 730円 | 1,460円 |
| | 老人保健(2割負担) | 4,380円 → 1,460円 | 2,920円 |
| | 健保・国保(3割負担) | 6,570円 → 2,190円 | 4,380円 |

※表の金額は、薬代のみを計算した場合です。服用する患者が窓口で支払う金額は、薬代以外に医師の技術料や検査料も含まれています。窓口で支払う金額=(診察代+検査代+薬代等)×0.1、0.2または0.3となります。

ジェネリック医薬品 お願いカードを使いましょう!

受診の際に窓口はこのカードを提示して
ジェネリック医薬品の処方希望を伝えましょう!



ジェネリック医薬品を検索できます! <http://www.generic.gr.jp/>

日本ジェネリック研究会のホームページ「かんじゃさんの薬箱」では、今お使いの医薬品の製品名を入力するだけでジェネリック医薬品の検索が行えます。ぜひ活用しましょう!

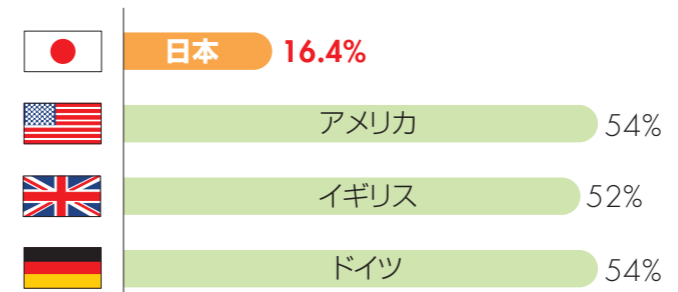
4 世界では、もうあたり前! ジェネリック医薬品!



WHOも使用を推奨、医療先進国・欧米では、シェア50%以上

欧米では、日本以上にジェネリック医薬品により医療費の抑制に成果をあげています。WHO(世界保健機関)でもジェネリック医薬品の使用を推奨しています。グラフは医療先進国におけるジェネリック医薬品の全医療用医薬品に占めるシェアです。

主要なジェネリック医薬品市場(2001年・数量ベース)



Jean-Michel Peny. Scrip Magazine March 2003より
(日本は2003年のデータ<医薬品工業協議会調べ>より)



代替調剤が徹底するアメリカ、一般名処方が浸透するイギリス

欧米では、特許が満了した1ヶ月後には約80%がジェネリック医薬品に替わる薬もあるほど、ジェネリック医薬品は一般的な存在です。アメリカでは代替調剤(薬剤師が患者の同意のうえで医師が処方した医薬品を、同一成分の他の名称の薬に替えられる)が認められており、保険会社もジェネリック医薬品での調剤を促進するプランを増やしています。また、イギリスでは、一般名処方(医師が処方箋を発行する際、商品名を指定せず一般名で薬を処方し、成分が同じ複数の薬の中から薬剤師が調剤できる)の比率は約74%と非常に高いものになっています。

処方箋様式が変更されました!

2006年4月から処方箋の様式が変更となり、処方箋に新たに「後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更可」の欄が設けられました。

医師が先発医薬品(新薬)名で処方しても「変更可」に署名があれば、患者さんは薬剤師と相談のうえジェネリック医薬品を選ぶことができます。